

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p data-bbox="220 562 384 595">&lt;土地利用&gt;</p> <p data-bbox="245 636 360 669">川原主幹</p> <p data-bbox="245 853 416 887">小室財務主幹</p> <p data-bbox="272 1178 416 1211">質疑、発言</p> <p data-bbox="245 1290 416 1357">&lt;治山治水&gt; 矢萩部長</p>	<p data-bbox="501 309 1366 524">開催日時 平成27年6月10日（水） 午後6時30分～ 健診ホール 出席者 渡邊委員、高田委員、久山委員、宮田委員 矢萩建水部長、植木会計管理者、高崎議会事務局長 説明員 川原建設主幹、伊成耕地林務主幹、小室財務主幹、 小西主査 事務局員 露口まちづくり主幹</p> <p data-bbox="501 562 839 629">&lt;テーマ 37 土地利用&gt; 地籍調査の関係について 地籍調査の精度を高めるため、平成23年度から取り組んできた地積の 数値情報化事業。地籍厚生などが随時生じており対応している。 今後も、地籍の信頼性確保に取り組むため、地籍数値情報化事業など により土地台帳や地籍・地番図などの地籍管理や適正化を行い、信頼性の 確保に努める。</p> <p data-bbox="501 853 1394 1137">国土法に關係する土地利用について。 限られた土地を守り、有効活用図るため、適正かつ合理的な土地利用 の確保に努めています。快適な生活環境や暮らしやすい地域づくりを進め るために、引き続き計画的な土地利用を進めることが必要である。 こうしたことから、利用区分に応じた計画的な土地利用を進めるため に、一つには都市区域、森林区域、自然保護区域の利用区分に応じた土地 利用を推進していく。また、国土法に基づき、適正かつ合理的な土地利用 の確保を図っていくこととします。</p> <p data-bbox="501 1178 1050 1211">上記テーマに關した発言は、特になく終了。</p> <p data-bbox="501 1290 1394 1939">&lt;テーマ 46 治山治水&gt; 配布資料のとおり説明。建設からは治水に関して。 現状や課題について～ 河川氾濫は、各樋門にポンプ設置がされて危険性が少なくなって いるが、浚渫（しゅんせつ）や草刈りなどの維持管理の課題がある。 今後も、国や道と連携した水害防止のため、堤防のかさ上げや拡幅・ 樋門連携箇所などの冠水対策箇所への改善検討や各樋門の維持管理体 制の強化についてが検討課題に。  基本的な考え方～ 治水対策のため、河川環境せいびや洪水時における早期情報提供のさ らなる推進を国や道に要望する。河川の親水機能を考慮した良好な河川 環境の保全や自然生態系に配慮した国・道と連携しながら河川整備や改 修をすすめる。こうしたことで、未然に自然災害を防ぐ。  また、住民や地域、行政とも連携し、魚道設置による生態系の保全や 河川の一斉清掃などによる環境美化、総合学習などで治水環境に対する 住民意識の向上を図っていく。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
矢萩部長	<p>新しい計画内容～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治水対策の推進として－河川管理者の国や道と連携強化して、迅速な初動体制を図る。内水被害の実態を踏まえて排水路や作業ヤードなどの河川整備を要望していく。</li> <li>・内水排除用の排水ポンプ維持管理－町が管理する各種門などの常時電源の増設と排水ポンプの適切な点検補修をする。更新計画も行う。</li> <li>・河川情報施設整備の拡充－河川監視カメラの設置及び冠水地区の水位観測所の設置要望をする。早期情報による迅速な体制に努める。</li> <li>・網走川河川整備の推進－親水性豊かな河川緑地の活用推進の検討 今も計画している河川敷のパーク場、サイクリングロードなども整備しているが劣化しており、時代やニーズにあっているものか再検討していく。</li> <li>・駒生川河川改修事業の推進－稲美クレードルから南に向かって。 生態系を保全配慮した整備を進め、地域の安全を図りたい。</li> <li>・河川の浚渫（しゅんせつ）等－安全に川の水が流れていくよう河道の掘削や樹木伐採をするよう国や道に要望し、連携しながら河川管理をすすめる。また、浚渫土は畑から流れてきた土砂などであり、栄養があるため、この利用を図るよう工夫していきたい。</li> <li>・国や道と連携した河川環境の保全－河畔林の維持や河川緑地の増進を図る緑化。魚道設置などの生態系保全や水質確保などにも配慮し、河川の一斉清掃や各種ワークショップを通じて河川美化への啓発、環境保全にも推進していく。</li> <li>・国や道の管理区間における河川整備計画と連携した河川整備の推進－洪水などによる災害発生防止、機能維持、河川環境の整備と保全を図るために、住民や関係機関と連携協働した体制を構築し、要望する。</li> </ul>
伊成主幹	<p>治山関係の現状や課題～</p> <p>地滑りや土砂流出などの自然災害を未然防止するため、治山施設や砂防ダムなどの施設整備が必要。今後も危険箇所を把握して対応。 民地は隣地や農地が大雨時に崩落しやすく、土地所有者への啓発が必要になる。</p> <p>基本的な考え方～</p> <p>自然生態系に配慮した治山治水を進め、未然防止が必要であり、また危険箇所の把握や大雨時の巡回を行っていきます。</p> <p>新たな計画内容～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害等による山腹の復旧や砂防ダムの設置に取り組む</li> <li>・危険箇所の状況調査や砂防ダムの定期点検や維持管理をする</li> </ul>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
伊成主幹	町内の危険箇所や林地開発による崩落危険箇所等の診断結果による指導・対応方法の検討をしていく。
質疑・意見 渡邊委員	河川の本流が溢れてくるような際は、どう対応するのか？
矢萩部長	現在、網走川を女満別から上流に向かい広げる工事をしたり溢れないように未然防止に努めている。そのためオーバーフローすることはないと思う。それでも溢れるようであれば、避難。
小西主査	本河川よりも網走湖の水位が高くなっており、そのため、工事としましては、水位を調整できないため、河川の幅を広げる工事中。 テレメータで迅速に水位など確認できるので、水防団員の待機とか避難指示に取り組むことになる。
渡邊委員	地滑りで、この前の話で地図があった。美禽地区で10軒ほどあったようだが、どこにあるのか？
伊成主幹	平岡さんの所で、砂防ダムを二基ほど整備している。あとは豊岡のモーター側の方にもある。 他に意見発言はなく、次のテーマに移る。
<ユニバーサル デザイン> 川原主幹	<テーマ 47ユニバーサルデザイン> 配付資料より説明 追加説明は2巡目の建設関係： 道路形態から、公共施設等への道順がわかりづらい現状。案内看板などで、誰にも分かりやすいデザインを取り入れ、公共施設を表示する等ユニバーサルデザイン導入の必要性が高まってきている。 基本的な考え方～ 全ての人が安全で安心して、簡単かつ快適に利用できる考え方に基づいて、公共施設等が誰にでもわかりやすい道路・公園などに案内看板等の表示の検討。地域や町外の方にもわかりやすいユニバーサルデザインの導入に向けた検討をしていく。
渡邊委員	特に記載のとおり、公共施設ではやっているもので、問題ないと思う。ただ、公営住宅などはエレベーター対応とか何かすることを考えないと思うが。前回の説明でも経費かかると聞いているが、 高齢者が別の公営住宅に移すなども考えないといけないのか。
宮田委員	四階建てを当時建設している時代は、こういう概念がなかった。階段式のため、構造上EVをどこにつけるかも難しい。 公営住宅の長寿命化計画で検討していかないと思っている。
渡邊委員	借り上げ公営住宅は対応しているが、古い公営住宅では、1階や低層の公営住宅に移ってもらうことも大事でしょう。 しかし公共施設ではもうスロープとか対応しているので。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
渡邊委員	<p>それであれば、そんなに道路や公園とか、通路や歩道などでユニバーサルデザインとか対応して考えるのでしょうか。</p>
川原主幹	<p>道路にしる公園にしる、他にも新しく作る際には、ユニバーサルデザインを取り込みながら実施している。</p> <p>ユニバーサルデザインだけポンと出されると案内サインとかありますが、古い物には修繕の際に考慮しながら直して行くとか、やらせてもらっている。</p>
宮田委員	<p>公共施設の場所がわかりにくいと、よく人から言われる。</p> <p>建物の話ですが、札幌の区役所では廊下に色つきの線があり、目的の窓口に行きやすい。道路に線を引けません、役場ではそんなことも考えては良いのでは。</p>
渡邊委員	<p>病院ではみかけますね。アウトレットでもどこかで有ったような。道路では線の表示はできないですね。</p>
矢萩部長	<p>何年も前から、わかりにくいと言われている。智恵を絞っていかないと思う</p>
渡邊委員	<p>トーテムポールのように「→表示」で、ある程度カバーする方法も。人目につきやすい、降雪でも夜間でも分かりやすい工夫すると、だいぶ違うのでは。</p>
川原主幹	<p>美幌のサインは植樹帯とかおいてあり、冬には雪が置かれて見えなくなる。考えて作っていくこと必要とも感じますね。</p> <p>他に発言はないため、終了。</p>